

児童生徒名	A	B	C	D	
指導目標 (長期目標)	<p>★「自立活動シート」「個別の指導計画」「年間指導計画」などを参考に記入しましょう。</p> <p>※「自立活動シート」は、島根県教育センターホームページ特別支援教育のページでダウンロードできます。</p> <p>「自立活動シート」を参考にした場合は、「1. 実態把握」「2. 指導目標の設定」「4. 具体的な指導内容」の項目を確認しましょう。「自立活動シート」の内容と現在の児童生徒の状況を踏まえて記入していきましょう。</p>			<p>「個別で指導する場合」「集団で指導する場合」があります。学級の実態に合わせてお使いください。</p>	
指導内容					
学習や生活の中で見られる長所やよさ 興味・関心	<p>★「指導内容」と「学習や生活の中で見られる長所やよさ、興味・関心」を基にして「単元の指導目標」「主な活動内容」を考えます。</p> <p>この時にいろいろと考えたアイデアを書いて残しておく、今後の単元で使えるネタになるかもしれません。決定した活動内容に○をします。</p>			<p>★単元の指導目標に合わせて活動内容を考えましょう。</p> <p>例) 目標：自分の気持ちや要求を相手に伝える。 達成するために必要な項目：【人間関係の形成】【コミュニケーション】 考えられる活動内容： ○相手と協力するゲーム（相手意識をもって活動する） ○大好きな先生を招待して遊ぶ （相手に気持ちや要求を伝えたいくなるような機会をつくる、やりとりの楽しさを味わう） ○絵カードや身振りを使ってやりとりを行う （コミュニケーション手段を身につけたり広げたりする）</p> <p>参考資料）「自立活動の内容整理表」（島根県教育センター特別支援教育セクション作成資料） 障がいや障がいの状態を踏まえて具体例が例示しているが、学習上又は生活上の困難が似ている場合には、指導内容例が参考にできます。</p>	
児童生徒名					
単元の指導目標					
単元名					
主な活動内容					

★自立活動の具体的な指導内容を考える際の配慮事項です。指導内容を考える際に次の6点（幼稚部は7点）を意識しましょう。


- ア 主体的に取り組む
- イ 改善・克服の意欲を喚起
- ウ 発達の進んでいる側面を更に伸ばす
- エ 自ら環境と関わり合う（幼稚部のみ）
- オ 自ら環境を整える
- カ 自己選択・自己決定を促す
- キ 自立活動を学ぶことの意義について考えさせる

自立活動の配慮事項についての詳しい説明は、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』の111～118ページに掲載されています。詳しくはそちらをご覧ください。




Go! Go! 授業づくり! シート

自立活動用 記入のポイント

児童生徒名	A	B	C	D
単元の指導目標	★単元の指導目標欄には、単元の指導目標を抜き出します。 在籍人数に応じて、記入枠を作ってください。			
手立て（単元を通して）				

日時	活動内容	A	B	C	D	準備物
		手立て	★「手立て」には、単元を通してと同じ手立てであれば記入はしません。 この時間の手立てがあれば、記入をします。			
		記録	★「記録」には、この時間の児童の活動の様子を記録します。			
		手立て				
		記録				
		手立て				
		記録				
		手立て				
		記録				

児童生徒の評価	児童生徒名	評 価		
	A	<p>★児童生徒の評価には、「単元の指導目標ができたか。」だけでなく、「児童がどのような点でつまずきがあったのか」「指導目標に向かって努力したことや努力しようとした態度」を記録します。</p> 		
	B			
	C			
	D			
指導に対する評価	評価の視点	①活動内容 ④教具	②活動量 ⑤活動の場の配置	③活動の流れ ⑥指導目標の妥当性
	<p>★6つの評価の視点からこの単元を振り返り、指導の改善を行います。</p> <p>「活動内容、活動量、活動の流れ、教具、活動の場の配置」が適切だったか、「目標の妥当性」は、単元の指導目標が児童の実態に合っていたかについて、振り返ります。気がついた視点について振り返りを行いましょう。</p> 